

平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年11月14日

上場会社名 株式会社タカギセイコー 上場取引所 東
 コード番号 4242 URL <http://www.takagi-seiko.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 笠井 千秋
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 石黒 勝己 (TEL) 0766-24-5522
 四半期報告書提出予定日 平成25年11月14日 配当支払開始予定日 平成25年12月20日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	25,722	△4.7	△229	—	△331	—	△443	—
25年3月期第2四半期	26,979	12.4	350	—	224	—	△58	—

(注) 包括利益 26年3月期第2四半期 357百万円(—%) 25年3月期第2四半期 △4百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	△32.96	—
25年3月期第2四半期	△4.37	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第2四半期	44,834	10,382	17.7
25年3月期	42,294	10,067	18.7

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 7,931百万円 25年3月期 7,909百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	1.00	—	1.00	2.00
26年3月期	—	1.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	1.00	2.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	51,950	△2.8	740	61.4	420	△21.7	60	△63.2	4.46

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社(社名)、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期2Q	13,659,860株	25年3月期	13,653,860株
② 期末自己株式数	26年3月期2Q	196,764株	25年3月期	194,441株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期2Q	13,462,630株	25年3月期2Q	13,456,633株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。なお、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(セグメント情報等)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、現政権による経済対策や金融緩和等を契機として、円高の是正や株価の上昇が進み、徐々に回復の兆しも見え始めています。しかしながら、米国・欧州財政問題や、中国の経済成長の鈍化が鮮明になりつつある等、先行き不透明な状況も依然として続いております。

当業界におきましても、緩やかな回復基調にはあるものの、原油、ナフサ価格の上昇傾向等もあり、楽観できない事業環境となりました。

一方、海外市場においては、中国をはじめとする新興国経済の成長鈍化による需要縮小の懸念、また米国・欧州における財政問題による景気減退の懸念もあり、今後の状況を注視する必要があります。このような状況の中、開発面においては、経済産業省による革新的新構造材料等技術開発「熱可塑性CFRPの加工技術の開発」に係る委託先に選定される等、環境負荷軽減に配慮した新製品・新技術・新材料の研究とともに顧客ニーズに対応するための既存製品の改良・改善及び応用技術開発を実施する等、開発先行型企业であり続けるための活動を継続する一方、営業面においては新技術及びグローバルネットワークを活かした積極的な提案営業を展開するとともに、製造面においても品質の向上、コストの低減及び短納期対応に全力で取り組むとともに最適地生産体制を構築する等、開発、営業及び製造が一体となり、お客様満足度の向上に努めました。

しかしながら、国内における通信機器分野・車両分野での受注数量の減少が主要因となり、当第2四半期連結累計期間の売上高は、25,722,880千円（前年同四半期比4.7%減）となりました。損益面では海外における材料費・労務費の増加等により営業損失は229,761千円（前年同四半期は営業利益350,912千円）、経常損失は331,116千円（前年同四半期は経常利益224,319千円）、税金等調整前四半期純損失は325,636千円（前年同四半期は税金等調整前四半期純利益228,396千円）、四半期純損失は443,747千円（前年同四半期は四半期純損失58,856千円）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

① 日本

成形品事業、特に通信機器分野・車両分野での受注数量の減少により、売上高は13,466,192千円（前年同四半期比27.5%減）、営業損失は433,490千円（前年同四半期は営業利益39,317千円）となりました。

② 中国

OA分野での受注数量の増加により、売上高は7,146,895千円（前年同四半期比67.4%増）となり、営業利益は59,107千円（前年同四半期は営業損失116,609千円）となりました。

③ 東南アジア

インドネシア・タイにおける車両分野での受注数量の増加により、売上高は5,109,792千円（前年同四半期比23.4%増）となったものの、材料費・労務費の増加等により営業利益は174,773千円（前年同四半期比56.1%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 流動資産

当第2四半期連結会計期間末における流動資産合計は、22,577,692千円となり、前連結会計年度末と比べ1,643,260千円増加しました。これは、現金及び預金の増加(529,828千円増)、仕掛品の増加(1,198,894千円増)が主な要因であります。

② 固定資産

当第2四半期連結会計期間末における固定資産合計は、22,256,596千円となり、前連結会計年度末と比べ896,411千円増加しました。これは、機械装置及び運搬具の増加(449,503千円増)、建物及び構築物の増加(214,979千円増)が主な要因であります。

③ 流動負債

当第2四半期連結会計期間末における流動負債合計は、21,146,313千円となり、前連結会計年度末と比べ1,791,216千円増加しました。これは、短期借入金の増加(1,361,287千円増)、支払手形及び買掛金の増加(1,191,407千円増)が主な要因であります。

④ 固定負債

当第2四半期連結会計期間末における固定負債合計は、13,305,627千円となり、前連結会計年度末と比べ433,598千円増加しました。これは長期借入金の増加(291,512千円増)が主な要因であります。

⑤ 純資産

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は、10,382,348千円となり、前連結会計年度末と比べ、314,857千円増加しました。これは為替換算調整勘定の増加(404,089千円増)が主な要因であります。

資本の財源及び資金の流動性についての分析

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前第2四半期連結累計期間末と比較して348,241千円増加し、3,826,370千円(前年同四半期比10.0%増)となりました。

① 営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動により得られた資金は1,469,337千円(前年同四半期比17.9%増)となりました。増加要因は主に、減価償却費1,539,243千円、売上債権の減少額1,233,107千円等によるものです。減少要因は主に、たな卸資産の増加額1,308,603千円等によるものです。

② 投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動により使用した資金は852,931千円(前年同四半期比11.4%減)となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出974,496千円等によるものです。

③ 財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動により使用した資金は244,230千円(前年同四半期は得られた資金134,610千円)となりました。増加要因は主に、長期借入れによる収入2,430,000千円、減少要因は主に、長期借入金の返済による支出2,845,367千円、リース債務の返済による支出805,755千円等によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の業績予想につきましては、平成25年10月31日付「業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」にて公表しました業績予想から変更はありません。今後、何らかの変化がある場合には、適切に開示してまいります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積もり、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法によっております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法等によっております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,323,262	3,853,090
受取手形及び売掛金	10,104,862	9,317,739
商品	135,338	314,520
製品	817,744	627,661
原材料	915,937	1,163,733
仕掛品	2,016,565	3,215,459
貯蔵品	153,916	202,192
繰延税金資産	196,447	194,749
未収入金	2,364,626	2,428,989
その他	908,236	1,261,843
貸倒引当金	△2,504	△2,287
流動資産合計	20,934,432	22,577,692
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	4,565,505	4,780,484
機械装置及び運搬具(純額)	3,459,883	3,909,387
土地	6,170,490	6,195,653
建設仮勘定	506,199	367,676
その他(純額)	2,718,853	2,858,079
有形固定資産合計	17,420,931	18,111,281
無形固定資産		
ソフトウェア	90,010	97,143
のれん	148,185	135,712
その他	140,652	168,764
無形固定資産合計	378,849	401,620
投資その他の資産		
投資有価証券	1,302,904	1,368,309
出資金	137,146	157,995
繰延税金資産	1,430,887	1,423,735
その他	811,537	915,726
貸倒引当金	△122,071	△122,071
投資その他の資産合計	3,560,404	3,743,695
固定資産合計	21,360,185	22,256,596
資産合計	42,294,617	44,834,289

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	8,537,546	9,728,954
短期借入金	2,079,877	3,441,164
1年内返済予定の長期借入金	4,693,969	4,137,715
未払法人税等	123,487	84,322
賞与引当金	378,138	173,526
その他	3,542,077	3,580,629
流動負債合計	19,355,097	21,146,313
固定負債		
長期借入金	7,532,323	7,823,835
退職給付引当金	4,371,864	4,352,476
役員退職慰労引当金	202,770	207,130
その他	765,071	922,184
固定負債合計	12,872,029	13,305,627
負債合計	32,227,126	34,451,941
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,089,139	2,089,805
資本剰余金	1,775,571	1,776,237
利益剰余金	4,368,347	3,911,140
自己株式	△47,854	△48,453
株主資本合計	8,185,203	7,728,728
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△64,788	8,546
繰延ヘッジ損益	△2,971	△1,808
為替換算調整勘定	△208,196	195,892
その他の包括利益累計額合計	△275,957	202,630
新株予約権	13,134	12,936
少数株主持分	2,145,110	2,438,053
純資産合計	10,067,490	10,382,348
負債純資産合計	42,294,617	44,834,289

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
売上高	26,979,028	25,722,880
売上原価	23,973,290	23,285,305
売上総利益	3,005,738	2,437,575
販売費及び一般管理費	2,654,826	2,667,336
営業利益又は営業損失(△)	350,912	△229,761
営業外収益		
受取利息	7,142	5,921
受取配当金	13,758	17,333
為替差益	—	46,430
作業屑売却収入	22,595	31,395
助成金収入	2,903	6,136
その他	41,706	29,046
営業外収益合計	88,106	136,264
営業外費用		
支払利息	161,699	203,925
為替差損	32,883	—
その他	20,116	33,694
営業外費用合計	214,699	237,619
経常利益又は経常損失(△)	224,319	△331,116
特別利益		
固定資産売却益	3,256	11,864
投資有価証券売却益	—	2,002
負ののれん発生益	8,150	—
特別利益合計	11,406	13,866
特別損失		
固定資産売却損	794	1,648
固定資産除却損	6,534	6,738
特別損失合計	7,329	8,387
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	228,396	△325,636
法人税等	142,065	69,175
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	86,330	△394,812
少数株主利益	145,187	48,935
四半期純損失(△)	△58,856	△443,747

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	86,330	△394,812
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△103,244	73,367
繰延ヘッジ損益	△3,491	1,163
為替換算調整勘定	13,568	650,807
持分法適用会社に対する持分相当額	2,003	27,071
その他の包括利益合計	△91,163	752,409
四半期包括利益	△4,833	357,597
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△149,444	34,839
少数株主に係る四半期包括利益	144,611	322,757

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	228,396	△325,636
減価償却費	1,514,584	1,539,243
賞与引当金の増減額(△は減少)	71,343	△206,543
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△28,267	△26,174
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	8,002	4,360
貸倒引当金の増減額(△は減少)	—	△217
受取利息及び受取配当金	△20,901	△23,254
支払利息	161,699	203,925
為替差損益(△は益)	23,779	△2,741
持分法による投資損益(△は益)	△6,535	4,039
有形固定資産売却損益(△は益)	△2,461	△10,216
投資有価証券売却損益(△は益)	—	△2,002
有形固定資産除却損	4,680	6,738
売上債権の増減額(△は増加)	559,910	1,233,107
たな卸資産の増減額(△は増加)	68,492	△1,308,603
仕入債務の増減額(△は減少)	△1,210,033	900,618
未収入金の増減額(△は増加)	274,811	△56,018
その他	△48,072	△172,140
小計	1,599,429	1,758,482
利息及び配当金の受取額	20,901	23,254
利息の支払額	△161,853	△197,906
法人税等の支払額	△212,468	△114,493
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,246,007	1,469,337
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△12,000	△12,000
定期預金の払戻による収入	12,000	—
有形固定資産の取得による支出	△926,478	△974,496
有形固定資産の売却による収入	270,479	63,943
無形固定資産の取得による支出	△27,818	△36,487
投資有価証券の取得による支出	△203,564	△25,200
投資有価証券の売却による収入	—	46,389
子会社株式の取得による支出	△117,768	—
短期貸付金の増減額(△は増加)	—	—
長期貸付けによる支出	—	△1,126
長期貸付金の回収による収入	13,772	8,860
その他	28,876	77,186
投資活動によるキャッシュ・フロー	△962,503	△852,931

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	4,695	1,057,207
長期借入れによる収入	3,100,000	2,430,000
長期借入金の返済による支出	△2,150,789	△2,845,367
リース債務の返済による支出	△770,722	△805,755
新株予約権の行使による株式の発行による収入	378	1,134
自己株式の取得による支出	—	△599
配当金の支払額	△26,909	△13,459
少数株主への配当金の支払額	△68,190	△67,390
少数株主からの払込みによる収入	46,150	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	134,610	△244,230
現金及び現金同等物に係る換算差額	14,741	145,651
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	432,856	517,827
現金及び現金同等物の期首残高	2,968,433	3,308,543
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	76,839	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,478,129	3,826,370

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			合計
	日本	中国	東南アジア	
売上高				
外部顧客への売上高	18,570,117	4,268,796	4,140,114	26,979,028
セグメント間の内部売上高 又は振替高	336,038	184,597	607	521,243
計	18,906,156	4,453,394	4,140,721	27,500,271
セグメント利益又は損失 (損失は△)	39,317	△116,609	398,033	320,741

(注) 1. 国又は地域は、地理的近接度によっております。

2. 本邦以外の区分に属する主な国又は地域

(1) 中国…中華人民共和国、香港

(2) 東南アジア…インドネシア、タイ

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	320,741
セグメント間取引消去	30,170
四半期連結損益計算書の営業利益	350,912

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれんの発生益)

東南アジアにおいて平成24年5月29日に、連結子会社であるP.T. タカギ・サリマルチウタマの株式を追加取得したため、8,150千円の負ののれん発生益を計上しております。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			合計
	日本	中国	東南アジア	
売上高				
外部顧客への売上高	13,466,192	7,146,895	5,109,792	25,722,880
セグメント間の内部売上高 又は振替高	506,414	176,773	2,837	686,025
計	13,972,606	7,323,669	5,112,630	26,408,906
セグメント利益又は損失 (損失は△)	△433,490	59,107	174,773	△199,608

(注) 1. 国又は地域は、地理的近接度によっております。

2. 本邦以外の区分に属する主な国又は地域

(1) 中国…中華人民共和国、香港

(2) 東南アジア…インドネシア、タイ

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	△199,608
セグメント間取引消去	△30,153
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△229,761

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれんの発生益)

該当事項はありません。